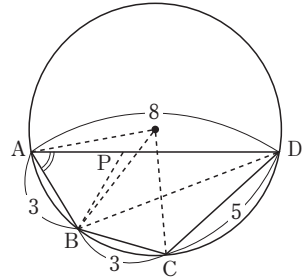


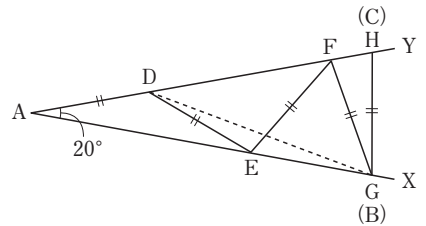
### 1. $60^\circ$

**解説** 図のように、辺AD上に $AP=AB=3$ となる点Pをとると、 $PD=8-3=5$ となる。 $\triangle PBD$ と $\triangle CBD$ において、 $PD=CD=5$ 、辺BDが共通 また、 $AB=BC$ より $\widehat{AB}=\widehat{BC}$ で、等しい弧に対する中心角は等しく、円周角はその $\frac{1}{2}$ だから等しくなり、 $\angle PDB=\angle CDB$  以上より、2辺とその間の角がそれぞれ等しいから、 $\triangle PBD \equiv \triangle CBD$  これより、 $BP=BC=3$ となるから、 $\triangle ABP$ は1辺3の正三角形であり、 $\angle A=60^\circ$



### 2. $10^\circ$

**解説** 図のように、半直線AX, AY上に、 $AD=DE=EF=FG=GH$ となるように点E~Hをとる。このとき、二等辺三角形の底角が等しいこと、および、三角形の内角と外角の関係から、 $\angle DEA=\angle DAE=20^\circ$ 、 $\angle EFD=\angle EDF=20^\circ+20^\circ=40^\circ$ 、 $\angle FGE=\angle FEG=40^\circ+20^\circ=60^\circ$ 、 $\angle GHF=\angle GFH=60^\circ+20^\circ=80^\circ$  よって、 $\triangle AGH$ で、 $\angle AGH=180^\circ-80^\circ-20^\circ=80^\circ$ となるので、 $\angle AGH=\angle AHG=80^\circ$ より、 $AG=AH$  したがって、点G, 点Hがそれぞれ頂点B, 頂点Cに対応することになる。ここで、 $\angle FGE=\angle FEG=60^\circ$ より $\triangle EFG$ は正三角形となるから、 $EG=EF$  また、 $DE=EF$ だから、 $\triangle EDG$ は $ED=EG$ の二等辺三角形で、 $\angle DEG=180^\circ-20^\circ=160^\circ$ より、求める角の大きさは、 $\angle ABD=\angle EGD=(180^\circ-160^\circ)\div 2=10^\circ$

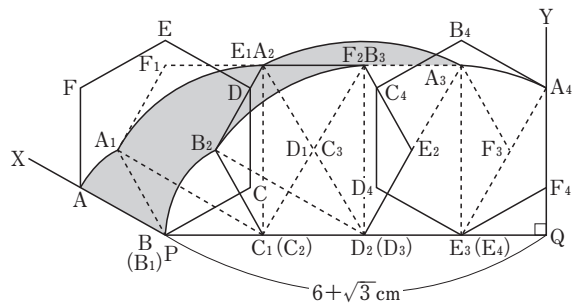


3. (1)  $\frac{1+2\sqrt{3}}{3} \pi \text{ cm}$  (2)  $\frac{4+\sqrt{3}}{3} \pi \text{ cm}$  (3)  $\frac{7}{3} \pi \text{ cm}^2$

**解説** (1) まず、正六角形は点Bを中心として回転し、図の正六角形 $A_1B_1C_1D_1E_1F_1$ の位置まで移動する。このとき、 $AB=2$ 、回転角が $\angle ABA_1=\angle XPQ-\angle A_1B_1C_1=150^\circ-120^\circ=30^\circ$ より、 $\widehat{AA_1}=2\pi \times 2 \times \frac{30^\circ}{360^\circ} = \frac{1}{3} \pi$

次に、正六角形は点Cを中心として回

転し、正六角形 $A_2B_2C_2D_2E_2F_2$ の位置まで移動する。このとき、 $A_1C_1=AC=2 \times \frac{\sqrt{3}}{2} AB=2\sqrt{3}$ 、回転角が



$\angle A_1C_1A_2 = \angle B_1C_1B_2 = 180^\circ - 120^\circ = 60^\circ$  より,  $\widehat{A_1A_2} = 2\pi \times 2\sqrt{3} \times \frac{60^\circ}{360^\circ} = \frac{2\sqrt{3}}{3}\pi$  よって, 求める距離は,

$$\widehat{AA_1} + \widehat{A_1A_2} = \frac{1}{3}\pi + \frac{2\sqrt{3}}{3}\pi = \frac{1+2\sqrt{3}}{3}\pi \text{ (cm)}$$

(2) (1)の状態(正六角形 $A_2B_2C_2D_2E_2F_2$ )からは, まず, 点Dを中心として回転し, 図の正六角形 $A_3B_3C_3D_3E_3F_3$

の位置まで移動する。このとき,  $A_2D_2 = 4$ , 回転角が $\angle A_2D_2A_3 = 60^\circ$ より,  $\widehat{A_2A_3} = 2\pi \times 4 \times \frac{60^\circ}{360^\circ} = \frac{4}{3}\pi$  次

に, 点Eを中心として回転する。 $EF = 2$ ,  $E_3Q = (6 + \sqrt{3}) - 2 \times 3 = \sqrt{3}$ ,  $\angle PQY = 90^\circ$ より, 点Fが直線QYに接する( $F_4$ )と, 図の $\triangle E_3F_4Q$ は3辺の比が $1 : 2 : \sqrt{3}$ の直角三角形となるので,  $\angle E_3F_4Q = 60^\circ$  これより, 辺AFが直線QYに重なることがわかるので, このとき, 正六角形 $A_4B_4C_4D_4E_4F_4$ の位置まで移動する。 $A_3E_3 = 2\sqrt{3}$ , 回転角が $\angle A_3E_3A_4 = 30^\circ$ より,  $\widehat{A_3A_4} = 2\pi \times 2\sqrt{3} \times \frac{30^\circ}{360^\circ} = \frac{\sqrt{3}}{3}\pi$  よって, 求める距離は,  $\widehat{A_2A_3} +$

$$\widehat{A_3A_4} = \frac{4}{3}\pi + \frac{\sqrt{3}}{3}\pi = \frac{4+\sqrt{3}}{3}\pi \text{ (cm)}$$

(3) 辺ABが通過する部分は, 図で影を付けた部分である。1回目の移動では, おうぎ形 $BAA_1$ が描かれ, その

面積は,  $\pi \times 2^2 \times \frac{30^\circ}{360^\circ} = \frac{1}{3}\pi$  2回目の移動では, 図形 $A_1B_1B_2A_2$ が描かれ, その面積は,  $\triangle B_1A_1C_1 +$  [お

うぎ形 $C_1A_1A_2] -$  [おうぎ形 $C_1B_1B_2] - \triangle B_2A_2C_2$ で求められる。ここで,  $\triangle B_1A_1C_1 \equiv \triangle B_2A_2C_2$ だから, [図形

$A_1B_1B_2A_2] = \pi \times (2\sqrt{3})^2 \times \frac{60^\circ}{360^\circ} - \pi \times 2^2 \times \frac{60^\circ}{360^\circ} = \frac{4}{3}\pi$  3回目の移動では, 図形 $A_2B_2B_3A_3$ が描かれ, その

面積は,  $\triangle B_2A_2D_2 +$  [おうぎ形 $D_2A_2A_3] -$  [おうぎ形 $D_2B_2B_3] - \triangle B_3A_3D_3$ で求められる。ここで,  $\triangle B_2A_2D_2 \equiv$

$\triangle B_3A_3D_3$ だから, [図形 $A_2B_2B_3A_3] = \pi \times 4^2 \times \frac{60^\circ}{360^\circ} - \pi \times (2\sqrt{3})^2 \times \frac{60^\circ}{360^\circ} = \frac{2}{3}\pi$  よって, 求める面積は,

$$\frac{1}{3}\pi + \frac{4}{3}\pi + \frac{2}{3}\pi = \frac{7}{3}\pi \text{ (cm}^2\text{)}$$